

# 平成29年度 高知県普通会計決算見込みについて (ポイント編)

## 1. 歳入歳出決算額の状況

国の経済対策事業の活用等により歳入歳出規模はともに拡大。実質収支は黒字を確保。

(単位 百万円、%)

区分	29年度	28年度	増減額	増減率
歳入総額 A	472,385	453,350	19,035	4.2%
歳出総額 B	460,710	441,132	19,578	4.4%
形式収支 C (A-B)	11,675	12,217	△ 542	△ 4.4%
繰り越すべき財源 D	9,659	11,227	△ 1,568	△ 14.0%
実質収支 E (C-D)	2,016	990	1,026	103.6%

### ① 歳入

- 歳入総額は4.2%の増加 H28：4,533億50百万円  
→ H29：4,723億85百万円 (+190億35百万円)

労働者数の増加に伴う納税義務者の増加などにより県税が増となったほか、普通建設事業費の増に伴う国費の活用により国庫支出金が増となったことなどにより、前年度から増となった。

### ② 歳出

- 歳出総額は4.4%の増加 H28：4,411億32百万円 → H29：4,607億10百万円 (+195億78百万円)

新図書館複合施設整備事業や国の経済対策事業などの普通建設事業費が増となったことなどにより、前年度から増となった。

### ③ 収支

- 実質収支は20億16百万円の黒字

H28：9億90百万円(黒字) → H29：20億16百万円(黒字) (+10億26百万円)

## 2. 各財政指標の状況

臨時財政対策債を除く県債残高については、投資的経費の増などにより、微増。

経常収支比率は、普通交付税の減などに伴い前年度から上昇。

### ① 県債残高

- 投資的経費の増などにより、県債残高総額及び臨時財政対策債を除く県債残高は、微増。

県債残高総額 H28：8,484億34百万円  
→ H29：8,575億75百万円 (+91億41百万円)

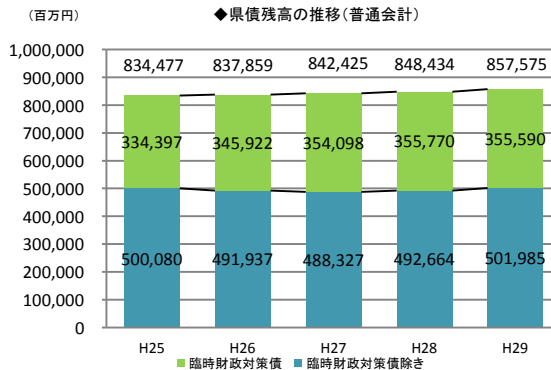
臨時財政対策債を除く県債残高 H28：4,926億64百万円  
→ H29：5,019億85百万円 (+93億21百万円)

### ② 経常収支比率

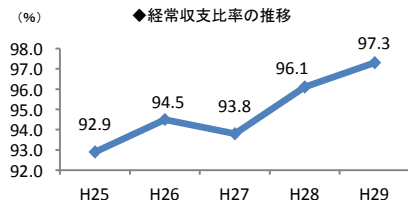
- 財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、普通交付税の減などに伴い前年度から上昇。

H28:96.1% → H29:97.3% (+1.2ポイント)

◆県債残高の推移(普通会計)



◆経常収支比率の推移



## 3. 将来に向けた基金の確保

### ① 財政調整的基金の状況

- 決算剰余金の積立などを行ったものの、財政調整的基金の取崩し(減債基金：37億86百万円、財政調整基金：18億69百万円)を行ったことにより、平成29年度末残高は244億55百万円(50億74百万円の減)となった。

### ② 特定目的基金の状況

- 国民健康保険財政安定化基金に原資を造成するために積立を行ったことなどから、平成29年度末残高は139億85百万円(5億23百万円の増)となった。

◆財政調整的基金の推移

